

総合講義 I

コーディネーター：口腔保健育成学講座・歯科矯正学分野 佐藤和朗教授
 ：解剖学講座・機能形態学分野 藤村朗教授
 担当講座（分野）：歯学部専門教育担当教員

第5学年 前期・後期

	講義	演習
前期	57時間（57コマ）	12時間（12コマ）
後期	52時間（31コマ）	24時間（24コマ）

教育成果（アウトカム）

臨床実習において診療参加型実習を実践している中で、歯科医学臨床に直結する内容で今までに学んだ専門分野の知識を振り返り、知識と技能の融合を行う。（ディプロマ・ポリシー：5、8）

事前学修内容及び事前学修時間（30分）

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書等を用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

講義日程（1限：8:40～9:40、2限：9:50～10:50、3限：11:00～12:00、4限：13:00～14:00、
 5限：14:10～15:10、6限：15:20～16:20、7限：16:30～17:30）

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
4月18日(火) 1限(8:40～ 9:40)	う蝕治療学分野 長谷部智之助教	修復、歯内の診査、診断から修復法まで 硬組織疾患、歯内疾患の診査法、診断、修復法について理解する。	1. う蝕の診査法を説明できるようになる。 2. う蝕の診断ができるようになる。 3. 歯内療法に必要なの診査法を説明できるようになる。 4. 歯内疾患の診断ができるようになる。 5. 症例に応じた修復法を説明できるようになる。
4月18日(火) 2限(9:50～ 10:50)	う蝕治療学分野 長谷部智之助教	修復、歯内の診査、診断から修復法まで 硬組織疾患、歯内疾患の診査法、診断、修復法について理解する。	1. う蝕の診査法を説明できるようになる。 2. う蝕の診断ができるようになる。 3. 歯内療法に必要なの診査法を説明できるようになる。 4. 歯内疾患の診断ができるようになる。 5. 症例に応じた修復法を説明できるようになる。
4月18日(火) 3限(11:00 ～12:00)	歯周療法学分野 八重柏隆教授	歯周病学の要点1 国家試験出題の歯周領域の問題を理解する。	1. 国家試験に出題されている歯周領域の問題内容を理解する。
4月25日(火) 6限(15:20 ～16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科医学教育(在宅介護医療ビデオ講義1) 「超高齢社会を見据えた未来予想図(前)」飯島 勝矢 48分	1. 地域における多職種で高齢者を支援する「地域包括ケア」の概念を理解する。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
4月25日(火) 7限(16:30 ~17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯 科医学教育(在宅介護医 療ビデオ講義2) 「超高齢社会を見据え た未来予想図(後)」飯 島 勝矢 49分	1. 地域における多職種で高齢者を支援する 「地域包括ケア」の概念を理解する。
5月2日(火) 1限(8:40~ 9:40)	歯科放射線学分野 泉澤充講師	CT・MRI 画像 CT・MRI による画像診断 能力を向上させるため、 放射線解剖学的知識を 習得する。	1. CT・MRI 画像上で、診断に必要な解剖名を 指摘できる。 2. CT・MRI 画像上で、以下の組織隙を指摘で きる。 傍咽頭隙、翼突下顎隙、咀嚼筋隙、顎下隙、 舌下隙、オトガイ下隙
5月2日(火) 2限(9:50~ 10:50)	歯科麻酔学分野 遠藤千恵講師	局所麻酔法 局所麻酔法と局所麻酔 時の偶発症を理解する。	1. 局所麻酔の目的を説明できる。 2. 局所麻酔法の種類、特徴を説明できる。 3. 局所麻酔および歯科治療時の全身的偶発 症を説明できる。
5月2日(火) 3限(11:00 ~12:00)	口腔外科学分野 宮本郁也准教授	菌性感染症 炎症の概念を理解し、菌 性感染症に関する知識 を習得する。	1. 菌性感染症の概念を説明する。 2. 菌性感染症の感染経路を説明する。 3. 菌性感染症の診断・治療法を説明する。
5月9日(火) 1限(8:40~ 9:40)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	矯正治療におけるフォ ースシステム 矯正治療に必要な力学 を理解する。	1. 固定について説明できる。 2. 矯正力について説明できる。 3. 矯正力により起こる生体反応を説明でき る。 4. 矯正治療に必要な力学を説明できる。
5月9日(火) 6限(15:20 ~16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯 科医学教育(在宅介護医 療ビデオ講義3) 「長寿時代のエンドオ ブライフ・ケア」会田薫 子 48分	1. 高齢者と慢性疾患患者の増大に伴い終末 期ケアにおけるエンドオブライフ・ケアの 概念を理解する。
5月16日(火) 1限(8:40~ 9:40)	細胞情報科学分野 帖佐直幸講師	炎症の生化学 炎症を調節する細胞や 分子の作用を理解する。	1. 炎症関連細胞を列挙し、それらの働きにつ いて説明できる。 2. 代表的なケミカルメディエーターを列挙 し、その作用を説明できる。 3. アラキドン酸カスケードを説明できる。
5月16日(火) 2限(9:50~ 10:50)	分子微生物学分野 石河太知助教	微生物学序論 病原微生物の生物分類 学上の位置づけおよび その性状を理解し、それ ら病原微生物による感 染症およびその病原因 子についての基本的事 項を理解する。	1. 微生物の構造・性状について説明できる。 2. 感染の概念と感染症について説明できる。 3. 病原微生物の性状・病原因子および感染症 について説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
5月16日(火) 3限(11:00 ~12:00)	分子微生物学分野 石河太知助教	免疫学序論 免疫応答による生体防 御の仕組みについての 基本的事項について理 解を深める。	1. 免疫応答に關与する器官と細胞について 説明できる。 2. 自然免疫と獲得免疫について説明できる。 3. 主なサイトカインとその生物活性につい て説明できる。 4. 微生物の認識機構と排除機構を説明でき る。
5月16日(火) 6限(15:20 ~16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯 科医学教育(在宅介護医 療ビデオ講義4) 「在宅医療に關わる保 険制度」浜田 淳 38 分	1. 在宅医療に關わる保険制度を理解する。
5月16日(火) 7限(16:30 ~17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義1 解剖学	1. 解剖学における必修事項を再度確認し、理 解する。
5月23日(火) 1限(8:40~ 9:40)	発生生物・再生医 学分野 藤原尚樹准教授	歯と顎骨の発生成長・加 齢変化<口腔疾患と全身 1> 歯と顎骨の正常発生と 加齢に伴う変化、異常に ついて説明できるよう になる。	1. 歯の発生・加齢変化について説明できる。 2. 顎骨の発生について説明できる。 3. 大理石骨病・鎖骨頭蓋異形成症などの全身 的な症状と共に顎顔面に異常がみられる 疾患やその原因について組織学的知識と 連携させて説明できる。
5月23日(火) 6限(15:20 ~16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯 科医学教育(在宅介護医 療ビデオ講義5) 「在宅患者の全身評価」 谷垣 静子 39分	1. 在宅患者の全身評価について理解する。
5月23日(火) 7限(16:30 ~17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義2 組織学	1. 組織学における必修事項を再度確認し、理 解する。
5月30日(火) 1限(8:40~ 9:40)	病態生理学分野 深見秀之助教	疼痛 痛覚の受容と伝導路を 理解する。	1. 痛覚の特徴を説明できる。 2. 痛覚の受容器を説明できる。 3. 痛覚伝導路を説明できる。 4. 象牙質および歯髓感覚の特徴を説明でき る。
5月30日(火) 6限(15:20 ~16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯 科医学教育(在宅介護医 療ビデオ講義6) 「要介護高齢者におけ る口腔管理の重要性」角 保徳 60分	1. 要介護高齢者における口腔管理の重要性 について理解する。
5月30日(火) 7限(16:30 ~17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義3 生理学	1. 生理学における必修事項を再度確認し、理 解する。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
6月6日(火) 1限(8:40～ 9:40)	小児歯科学・障害 者歯科学分野 (小児歯科学) 丸谷由里子講師	小児の歯髄処置 診断と処置	1. 症状やエックス線画像から、診断を行い、それにふさわしい処置法を選択できるようになる。
6月6日(火) 2限(9:50～ 10:50)	医療工学講座 武本真治教授	印象用材料 歯科臨床で使用する印象用材料について学ぶ。	1. 歯科臨床における印象材の選択基準を説明できる。 2. 印象材の種類とタイプを説明できる。 3. 歯科臨床における印象材の用途を説明できる。 4. 印象材の成分・組成と硬化機構および性質を説明できる。
6月6日(火) 3限(11:00 ～12:00)	小児歯科学・障害 者歯科学分野 (障害者歯科学) 久慈昭慶准教授	臨床に必要な知識を確実に身につける。	1. 行動調節や精神遅滞、自閉症、てんかん、脳性麻痺、主な症候群について説明できる。
6月6日(火) 6限(15:20 ～16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科医学教育(在宅介護医療ビデオ講義7) 「在宅義歯のための総義歯治療マニュアル」 皆木 省吾 43分	1. 在宅患者に対する総義歯治療の概要を理解する。
6月13日(火) 1限(8:40～ 9:40)	予防歯科学分野 岸光男教授	疫学総論 疫学的手法を理解する。	1. 疫学研究方法を列挙できる。 2. 疫学指標を列挙できる。 3. 与えられたデータから疫学指標を算出できる。
6月13日(火) 6限(15:20 ～16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科医学教育(在宅介護医療ビデオ講義8) 「在宅患者の摂食嚥下機能評価」 村田 尚道 51分	1. 在宅患者の摂食嚥下機能評価の概要を理解する。
6月13日(火) 7限(16:30 ～17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義4 生化学	1. 生化学における必修事項を再度確認し、理解する。
6月20日(火) 1限(8:40～ 9:40)	機能形態学分野 安藤禎紀講師	顎関節の解剖 顎関節の形態と進化を咀嚼様式から理解する。ヒトの顎関節の形態を理解する。	1. ヒトの顎関節の特徴を説明できる。 2. 蝶番運動と関連する顎関節の形状を説明できる。 3. 臼磨運動と関連する顎関節の形状を説明できる。 4. 前後運動と関連する顎関節の形状を説明できる。
6月20日(火) 2限(9:50～ 10:50)	病態制御学分野 山田ありさ助教	抗炎症薬 歯科診療を行う上で必要な抗炎症薬の薬理学的作用を理解する。	1. 抗炎症薬の作用機序を説明できる。 2. 抗炎症薬の副作用を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
6月20日(火) 3限(11:00 ~12:00)	補綴・インプラント学分野 (冠橋義歯補綴学) 田邊憲昌講師	咬合器の使用法 症例に応じた咬合器の選択と使用法を理解する。	1. アルコン型咬合器とコンダイラー型咬合器の顎路調整方法を説明できる。 2. 症例に応じた咬合器の選択基準の概略を理解する。
6月20日(火) 6限(15:20 ~16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科医学教育(在宅介護医療ビデオ講義9) 「嚥下障害患者のリスク管理」 谷口 恵子 51分	1. 嚥下障害患者のリスクを知り、その対応を理解する。
6月20日(火) 7限(16:30 ~17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義5 病理学	1. 病理学における必修事項を再度確認し、理解する。
6月27日(火) 1限(8:40~ 9:40)	発生生物・再生医学分野 大津圭史講師	結合組織の多様な役割 - その構造と免疫まで - 結合組織の基本的な構造・機能とその破綻によって引き起こされる疾患との関連を理解できるようになる。	1. 結合組織の基本的構造が説明できる。 2. 結合組織の細胞成分と細胞外マトリクスについて説明できる。 3. 結合組織に異常を来す疾患を列挙して、その病因を説明できる。 4. 血球の機能と種類、血管の組織構築を理解する。 5. 血液疾患を列挙し、その病因と歯科治療における留意点について説明できる。
6月27日(火) 6限(15:20 ~16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科医学教育(在宅介護医療ビデオ講義10) 「在宅患者の栄養指導・栄養評価」 坂本 八千代 39分	1. 在宅患者の栄養指導や栄養評価について理解する。
6月27日(火) 7限(16:30 ~17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義6 微生物学	1. 微生物学における必修事項を再度確認し、理解する。
7月4日(火) 1限(8:40~ 9:40)	病態制御学分野 田村晴希講師	局所麻酔薬、全身管理 歯科診療を行う上で必要な局所麻酔薬の特徴と偶発症の際に用いる薬物治療を理解する。	1. 局所麻酔薬の分類と作用機序を説明できる。 2. 偶発症の際に用いる薬物とその薬理作用を説明できる。
7月4日(火) 2限(9:50~ 10:50)	補綴・インプラント学分野 (有床義歯補綴) 小林琢也准教授	全部床義歯補綴学 全部床義歯に必要な知識を整理して床義歯製作手法を理解する。	1. 全部床義歯の各操作の目的を説明できる。 2. 全部床義歯の製作術式を説明できる。
7月4日(火) 3限(11:00 ~12:00)	補綴・インプラント学分野(口腔インプラント学) 近藤尚知教授	口腔インプラント学1 口腔インプラント治療に必要な知識を整理して手術方法を理解する。	1. インプラントの基本構造を説明できる。 2. インプラントの外科処置に必要な器具を説明できる。 3. インプラントの外科処置の各操作の目的と手技を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
7月4日(火) 6限(15:20 ~16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯 科医学教育(在宅介護医 療ビデオ講義11) 「在宅での歯科衛生指 導」寺尾 忍 43分	1. 在宅患者への口腔衛生指導について理解 する。
7月4日(火) 7限(16:30 ~17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義7 歯科理工学	1. 歯科理工学における必修事項を再度確認 し、理解する。
7月11日(火) 1限(8:40~ 9:40)	細胞情報科学分 野 帖佐直幸講師	唾液の生化学 唾液の成分とその作用 について理解する。	1. 唾液の成分を列挙し、その作用を説明でき る。 2. 唾液中の酵素の働きを説明できる。 3. 唾液中の抗菌因子の作用機序を説明でき る。
7月11日(火) 6限(15:20 ~16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯 科医学教育(在宅介護医 療ビデオ講義12) 「服薬の影響と服薬指 導」名倉 弘哲 48分	1. 高齢者に対する服薬の影響と服薬指導に ついて理解する。
7月18日(火) 1限(8:40~ 9:40)	病態生理学分野 深見秀之助教	循環 心機能および循環調節 機構を理解する。	1. 心筋の生理的特性を説明できる。 2. 心機能を調節する要因を説明できる。 3. 血圧調節機構を説明できる。
7月18日(火) 2限(9:50~ 10:50)	医療工学講座 武本真治教授	歯冠修復用材料 歯科臨床に应用する歯 冠修復材料について学 ぶ。	1. 歯科臨床における歯冠修復材の選択基準 を説明できる。 2. 歯冠修復材の種類を説明できる。 3. 歯冠修復材の成分および性質を説明でき る。 4. 歯冠修復材の取り扱い上の注意点を説明 できる。
7月18日(火) 3限(11:00 ~12:00)	口腔外科学分野 宮本郁也准教授	嚢胞 口腔領域に発生する嚢 胞の分類、臨床症状、画 像診断、病理組織診断、 治療法を習得する。	1. 口腔領域に発生する嚢胞を分類、その臨床 症状を説明する。 2. 嚢胞の画像所見と病理所見を説明する。 3. 嚢胞に対する適切な治療を説明する。
7月18日(火) 6限(15:20 ~16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯 科医学教育(在宅介護医 療ビデオ講義13) 「在宅介護現場におけ る食支援について」菊谷 武 71分	1. 在宅介護現場における食事の支援につい て理解する。
7月18日(火) 7限(16:30 ~17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義8 歯科薬理学	1. 歯科薬理学における必修事項を再度確認 し、理解する。
7月25日(火) 1限(8:40~ 9:40)	関連医学分野 千葉俊美教授	内科学I 循環器疾患・悪性新生 物・呼吸器疾患 代表的な循環器疾患・悪 性新生物・呼吸器疾患つ いて理解する。	1. 代表的な循環器疾患・悪性新生物・呼吸器 疾患について理解し説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
7月25日(火) 2限(9:50～ 10:50)	補綴・インプラント学分野(顎顔面補綴学) 武部純非常勤講師	顎顔面補綴学 顎顔面補綴治療に必要な知識を整理して補綴処置の方法を理解する。	1. 顎顔面補綴治療に必要な器具を説明できる。 2. 顎顔面補綴処置の各操作の目的と手技を説明できる。
7月25日(火) 3限(11:00～ 12:00)	病態解析学分野 三上俊成准教授	病理検査 病理検査の目的や意義、手順、診断方法を、歯科臨床との関連から理解する。	1. 病理診断の意義について説明できる。 2. 病理診断の方法について説明できる。 3. 病理診断と臨床との関わりを説明できる。
7月25日(火) 6限(15:20～ 16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科医学教育(在宅介護医療ビデオ講義14) 「多職種における経口摂取支援」森光 大 72分	1. 多職種連携で行う経口摂取の支援について理解する。
7月25日(火) 7限(16:30～ 17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科医学教育(在宅介護医療ビデオ講義15) 「認知症における口腔管理」枝広 あや子 87分	1. 認知症患者の口腔管理について理解する。
8月22日(火) 1限(8:40～ 9:40)	口腔外科学分野 山田浩之教授	歯原性腫瘍 歯原性腫瘍の種類を把握し臨床症状、病理組織像、診断、治療法を習得する。	1. 歯原性腫瘍を列挙し分類する。 2. 歯原性良性腫瘍の診断に必要な検査を挙げ、その概略を説明する。 3. 歯原性良性腫瘍の一般的な治療法を説明する。
8月22日(火) 2限(9:50～ 10:50)	予防歯科学分野 岸光男教授	地域保健 感染症・非感染症の予防における地域保健活動の役割を理解する。	1. 疾病構造の変化を概説できる。 2. 感染症と非感染症の予防に違いを概説できる。 3. 健康日本21の目標を列挙できる。
8月22日(火) 3限(11:00～ 12:00)	予防歯科学分野 岸光男教授	社会保障 医療保障制度を中心とした社会保障制度を理解する。	1. 社会保障の種類を列挙できる。 2. 医療保障制度を列挙できる。 3. 医療保険制度を概説できる。 4. 公費負担医療制度を列挙できる。
8月22日(火) 6限(15:20～ 16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯科医学教育(在宅介護医療ビデオ講義16) 「嚥下困難者に対する服薬支援 -簡易懸濁法など-」倉田 なおみ 48分	1. 嚥下困難者に対する服薬支援の概要を理解する。
9月5日(火) 1限(8:40～ 9:40)	病態制御学分野 田村晴希講師	抗菌薬 歯科診療を行う上で必要な抗菌薬の薬理学的作用を理解する。	1. 抗菌薬の分類、作用機序と副作用を説明できる。 2. 腎疾患の患者に適切な抗菌薬を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
9月5日(火) 6限(15:20 ~16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯 科医学教育(在宅介護医 療ビデオ講義17) 「地域における多職種 連携~経口維持加算で は何をするのか~」高橋 賢晃 67分	
9月5日(火) 7限(16:30 ~17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯 科医学教育(在宅介護医 療ビデオ講義18) 「地域における在宅高 齢者の栄養食事指導の 現状とポイント」前田 佳予子 84分	
9月12日(火) 1限(8:40~ 9:40)	機能形態学分野 安藤禎紀講師	唾液腺 唾液腺の種類と支配神 経を理解する。	1. 唾液腺の構造および分類を説明できる。 2. 唾液腺の神経支配を、神経の走行と障害を 関連づけて説明できる。
9月19日(火) 1限(8:40~ 9:40)	う蝕治療学分野 長谷部智之助教	齲蝕・歯髄炎・根尖性歯 周炎を硬組織を介した 感染症として理解する。	1. う蝕の診査法を説明できるようになる。 2. う蝕の診断ができるようになる。 3. 歯内療法に必要な診査法を説明できる ようになる。 4. 歯内疾患の診断ができるようになる。 5. 症例に応じた修復法を説明できるよう になる。
9月19日(火) 6限(15:20 ~16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	健康長寿社会を担う歯 科医学教育(在宅介護医 療ビデオ講義19) 「呼吸理学療法 -基礎 編-」宮川 哲夫 53分	
9月19日(火) 7限(16:30 ~17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義9 衛生・歯科予防学1	1. 衛生・予防歯科学における必修事項を再度 確認し、理解する。
9月26日(火) 1限(8:40~ 9:40)	発生生物・再生医 学分野 原田英光教授	上皮の組織学的構造と 疾患との関連<口腔疾患 と全身2> 上皮の基本的な構造と その破綻による歯冠と の関連性を理解でき るようになる。	1. 上皮の基本的構造が説明できる。 2. 上皮細胞間の接着装置を説明できる。 3. 上皮と基底膜との接着機構を説明できる。 4. 上皮細胞の構造が破綻した場合の疾患を 列挙して、その病因を説明できる。 5. エナメル質形成が上皮細胞で担われてい ることを理解できる。
9月26日(火) 6限(15:20 ~16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義10 衛生・予防歯科学2	1. 衛生・予防歯科学における必修事項を再度 確認し、理解する。
9月26日(火) 7限(16:30 ~17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義11 衛生・予防歯科学3	1. 衛生・予防歯科学における必修事項を再度 確認し、理解する。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
10月17日 (火) 1限(8:40～ 9:40)	病態解析学分野 佐藤泰生講師	口腔の炎症 病理総論の炎症を理解する。	1. 口腔領域の炎症性病変について理解できる。
10月17日 (火) 6限(15:20 ～16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義12 歯周療法学	1. 歯周療法学における必修事項を再度確認し、理解する。
10月17日 (火) 7限(16:30 ～17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義13 歯内療法学	1. 歯内療法学における必修事項を再度確認し、理解する。
10月24日 (火) 1限(8:40～ 9:40)	細胞情報科学分野 帖佐直幸講師	骨リモデリング 骨リモデリングのメカニズムについて理解する。	1. 骨吸収因子による骨芽細胞を介した破骨細胞の分化と成熟について説明できる。 2. 破骨細胞による骨吸収を分子レベルで説明できる。 3. 骨形成や骨吸収と体内カルシウム動態との関連性について理解する。
10月24日 (火) 2限(9:50～ 10:50)	病態解析学分野 三上俊成准教授	歯原性腫瘍 歯原性腫瘍の種類と病態を理解する。	1. 歯原性腫瘍の分類、発症機序および病理所見を説明できるようになる。
10月24日 (火) 3限(11:00 ～12:00)	補綴・インプラント学分野 (冠橋義歯補綴学) 田邊憲昌講師	クラウンブリッジの治療の流れ クラウンブリッジによる治療の流れを理解する。	1. 診療室と技工室における治療の進め方を理解できる。
10月31日 (火) 1限(8:40～ 9:40)	歯周療法学分野 佐々木大輔講師	歯周病学の要点2 国家試験出題の歯周領域の問題を理解する。	1. 国家試験に出題されている歯周領域の問題内容(歯周外科他)を理解する。
10月31日 (火) 6限(15:20 ～16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義14 保存修復学	1. 保存修復学における必修事項を再度確認し、理解する。
10月31日 (火) 7限(16:30 ～17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義15 有床義歯学	1. 有床義歯学における必修事項を再度確認し、理解する。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
11月7日(火) 1限(8:40～ 9:40)	分子微生物学分野 下山佑講師	ウイルス・口腔細菌 ウイルスの性状と感染経路、標的器官および感染症を理解する。さらに、口腔の正常フローラ、口腔細菌の性状および病原因子を学び、う蝕・歯周疾患・歯内疾患の成立・発症機序を理解する。	1. ウイルス粒子の構造と各部位の機能を説明できる。 2. ウイルス粒子の増殖過程を説明できる。 3. 主要な病原性ウイルスの性状・感染経路・標的器官および感染症を説明できる。口腔のニッチとその構成細菌について説明できる。 4. 口腔病原微生物の特徴と病原因子について説明できる。 5. う蝕の成立機序について説明できる。 6. 歯周炎の成立機序について説明できる。 7. 歯内疾患の成立機序について説明できる。
11月7日(火) 6限(15:20 ～16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義16 冠橋義歯学	1. 冠橋義歯学における必修事項を再度確認し、理解する。
11月14日 (火) 1限(8:40～ 9:40)	病態生理学分野 深見秀之助教	唾液 唾液の分泌機構および生理的特性について学習する。	1. 大唾液腺の種類と特徴を説明できる。 2. 唾液の生成および分泌機序を説明できる。 3. 唾液腺の神経支配について説明できる。 4. 唾液の機能について説明できる。
11月14日 (火) 2限(9:50～ 10:50)	医療工学講座 武本真治教授	義歯用材料 歯科臨床に应用する義歯用材料について学ぶ	1. 歯科臨床における義歯用材料の選択基準を説明できる。 2. 義歯用材料の種類を説明できる。 3. 義歯用材料の成分および性質を説明できる。 4. 義歯用材料の取り扱い上の注意点を説明できる。
11月14日 (火) 3限(11:00 ～12:00)	歯科放射線学分野 泉澤充講師	放射線防護と放射線治療 適切な放射線検査・治療を行うために、放射線防護に対する知識を習得する。	1. 放射線の確率的影響と確定的影響を説明できる。 2. 放射線防護における正当化と最適化について、具体的な方略を列記できる。 3. 口腔癌に対する放射線治療装置の特徴と適応を説明できる。
11月14日 (火) 6限(15:20 ～16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義17 口腔インプラント学	1. 口腔インプラント学における必修事項を再度確認し、理解する
11月21日 (火) 1限(8:40～ 9:40)	歯科麻酔学分野 四戸豊講師	全身麻酔法 全身麻酔法と全身麻酔時に使用する器具を理解する。	1. 全身麻酔の理論、概念、機序を説明できる。 2. 全身麻酔に使用する装置、器具、回路を説明できる。
11月21日 (火) 6限(15:20 ～16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義18 歯科放射線学	1. 歯科放射線学における必修事項を再度確認し、理解する

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
11月28日 (火) 1限(8:40～ 9:40)	口腔外科学分野 山田浩之教授	口腔癌 口腔領域に発生する上 皮性の悪性腫瘍に関す る知識を習得する。	1. 口腔癌の臨床症状を説明する。 2. 口腔癌の各種画像所見を説明する。 3. 口腔癌の治療、予後について説明する。
11月28日 (火) 6限(15:20 ～16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義19 歯科麻酔学	1. 歯科麻酔学における必修事項を再度確認 し、理解する
12月5日(火) 1限(8:40～ 9:40)	歯科矯正学分野 山田裕之助教	抜歯と固定 矯正治療における抜歯 と固定の必要性を理解 する。	1. 矯正歯科治療における抜歯の適応を説明 できる。 2. 適切な抜歯部位と抜歯数について説明で きる。 3. 連続抜去法について説明できる。 4. 抜歯の判定基準について説明できる。
12月5日(火) 2限(9:50～ 10:50)	小児歯科学・障害 者歯科学分野 (小児歯科学) 丸谷由里子講師	小児の咬合誘導 保隙処置	1. 欠損状態に応じた保隙装置の選択ができ るようになる。
12月5日(火) 3限(11:00 ～12:00)	小児歯科学・障害 者歯科学分野 (障害者歯科学) 久慈昭慶准教授	臨床実習で得た知識を 確実にする。	1. 社会的問題、嚥下、症候群など試験に必要 な項目を説明できる。
12月5日(火) 6限(15:20 ～16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義20 歯科矯正学	1. 歯科矯正学における必修事項を再度確認 し、理解する
12月12日 (火) 1限(8:40～ 9:40)	機能形態学分野 安藤禎紀講師	印象採得に関わる解剖 学 歯科補綴に関連する臨 床解剖学を理解する。	1. 印象採得に関連する解剖学的構造を説明 できる。 2. 口腔を構成する筋肉の付着部をすべて説 明できる。
12月12日 (火) 6限(15:20 ～16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義21 小児歯科学	1. 小児歯科学における必修事項を再度確認 し、理解する
12月19日 (火) 1限(8:40～ 9:40)	う蝕治療学分野 長谷部智之助教	コンポジットレジン、接 着歯学 コンポジットレジン、歯 科における接着技法に ついて理解する。	1. コンポジットレジン修復の手順について 説明できるようになる。 2. 歯科における接着技法について説明でき るようになる。 3. 症例に応じた修復法、接着技法を説明でき るようになる。
12月19日 (火) 6限(15:20 ～16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義22 口腔外科学1	1. 口腔外科学における必修事項を再度確認 し、理解する

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
1月9日(火) 1限(8:40～ 9:40)	補綴・インプラント学分野 (有床義歯補綴) 野村太郎講師	部分床義歯補綴学 部分床義歯に必要な知識を整理して床義歯製作手法を理解する。	1. 部分床義歯の各操作の目的を説明できる。 2. 部分床義歯の製作術式を説明できる。
1月9日(火) 2限(9:50～ 10:50)	予防歯科学分野 阿部晶子准教授	周術期における口腔管理 周術期における口腔管理の意義を理解する。	1. 周術期における口腔管理の必要性を説明できる。 2. 周術期における口腔管理の流れを概説できる。
1月9日(火) 3限(11:00～ 12:00)	予防歯科学分野 南健太郎助教	齲蝕の発生と予防 齲蝕の発生と予防の機序を理解する。	1. 齲蝕の発生機序を説明できる。 2. 齲蝕予防の方法を概説できる。 3. フッ化物による齲蝕予防機序を説明できる。
1月9日(火) 6限(15:20～ 16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義23 口腔外科学2	1. 口腔外科学における必修事項を再度確認し、理解する
1月16日(火) 1限(8:40～ 9:40)	補綴・インプラント学分野(口腔インプラント学) 近藤尚知教授	口腔インプラント学2 口腔インプラント治療に必要な知識を整理して補綴処置とメンテナンスの方法を理解する。	1. インプラントの補綴処置に必要な器具を説明できる。 2. インプラントの補綴処置の各操作の目的と手技を説明できる。 3. インプラントのメンテナンスの目的と手技を説明できる 4. 偶発症について説明できる。
1月16日(火) 6限(15:20～ 16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義24 口腔外科学3	1. 口腔外科における必修事項を再度確認し、理解する。
1月16日(火) 7限(16:30～ 17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義25 口腔外科学4	1. 口腔外科学における必修事項を再度確認し、理解する。
1月23日(火) 1限(8:40～ 9:40)	補綴・インプラント学分野 玉田助教	摂食嚥下リハビリテーションの全体像	1. 摂食嚥下リハビリテーションの流れを説明できる。
1月23日(火) 6限(15:20～ 16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義26 衛生・予防歯科学5	1. 衛生・予防歯科学における必修事項を再度確認し、理解する。
1月23日(火) 7限(16:30～ 17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義27 衛生・予防歯科学5	1. 衛生・予防歯科学における必修事項を再度確認し、理解する。
1月30日(火) 1限(8:40～ 9:40)	関連医学分野 千葉俊美教授	内科学Ⅱ 腎・精神疾患 代表的な腎・精神疾患について理解する。	1. 代表的な腎・精神疾患について理解し説明できる。
1月30日(火) 2限(9:50～ 10:50)	口腔外科学分野 宮本郁也准教授	唾液腺疾患 唾液腺疾患の症状、診断および治療法を習得する。	1. 唾液腺の炎症性疾患を説明する。 2. 唾液腺の閉塞性疾患を説明する。 3. 唾液腺腫瘍の種類と特徴を説明する。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
1月30日(火) 3限(11:00 ~12:00)	口腔外科学分野 山田浩之教授	口腔粘膜疾患 水疱性疾患に関する知識を習得する。	1. 口腔粘膜に発症する水疱性疾患を列挙し、その特徴について説明する。 2. 口腔粘膜に発症する水疱性疾患の治療法について説明する。
1月30日(火) 6限(15:20 ~16:20)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義28 衛生・予防歯科学6	1. 衛生・予防歯科学における必修事項を再度確認し、理解する。
1月30日(火) 7限(16:30 ~17:30)	歯科矯正学分野 佐藤和朗教授	必修ビデオ講義29 一般教養	1. 歯科医学を学ぶ者として必要な一般教養を身につける。

H29 年度 5 年 DESS 最終演習試験日程

試験時間(約 120 分): 午前 9 時 50 分～午前 12 時

30 分経過後から退出可

実施日	出題数	必修一般			臨床・臨実
5 月 9 日(火)	151	解剖 (44)	組織 (34)	生理 (42)	生化 (31)
5 月 23 日(火)	141	病理 I (30)	薬理 (47)	細菌 I (38)	細菌 II (26)
5 月 30 日(火)	147	病理 II (25)	理工 I (42)	理工 II (38)	衛生 I (42)
6 月 13 日(火)	150	衛生 III (44)	衛生 IV (34)	衛生 V (37)	衛生 VI (35)
6 月 27 日(火)	146	歯周 I (37)	歯周 II (23)	歯内 (47)	衛生 II (39)
7 月 11 日(火)	144	修復 (45)	クラブリ他 I (39)	クラブリ他 II (20)	放射線 II (40)
9 月 12 日(火)	110	有床 I (44)	有床 II (30)	麻酔 I (36)	
9 月 19 日(火)	116	放射線 I (48)	高齢者 I (36)	高齢者 II (32)	
9 月 26 日(火)	120	麻酔 II (17)	口外 I (39)	口外 II (26)	口外 III (38)
10 月 17 日(火)	127	口外 IV (34)	口外 V (45)	小児 I (48)	
10 月 31 日(火)	150	小児 II (40)	矯正 I (48)	矯正 II (39)	矯正 III (23)
11 月 7 日(火)	137	歯周 (47)	歯内 (39)	修復 I (35)	修復 II (16)
11 月 21 日(火)	129	有床 I (37)	有床 II (39)	クラブリ他 I (34)	クラブリ他 II (19)
11 月 28 日(火)	112	口外 I (38)	口外 II (34)	口外 III (40)	
12 月 12 日(火)	107	小児 I (28)	小児 II (36)	小児 III (31)	高齢者 (12)
12 月 19 日(火)	117	矯正 I (41)	矯正 II (22)	放射線 (30)	麻酔 (24)
1 月 16 日(火)		予備日あるいは 過去弱点のみ抽出して演習			
1 月 23 日(火)		予備日あるいは 過去弱点のみ抽出して演習			

成績評価方法

- *年間を通して行われる講義に3分の2以上出席すること、及び、原則としてDESS演習に前期・後期それぞれ3分の2以上出席することを定期試験の受験条件とする。
- *4月のDESS臨床実地演習（空き時間を利用した演習）の成績が80%未満の場合、原則として定期試験（前期）の受験を認めない。
- *5月～7月のDESS最終演習（講義室での演習）の成績が80%未満の場合、原則として定期試験（前期）の受験を認めない。
- *9月以降のDESS最終演習（講義室での演習）の成績が80%未満の場合、原則として定期試験（後期）の受験を認めない。
- *必修試験を受験し、原則として80%以上得点（合格）すること。不合格の者については、再試験を行い、原則として80%以上得点（合格）するまで継続して受験すること。
- *定期試験は各科目を統合した総合試験とする。
- *前後期試験（前期50%・後期50%）の合計が65%以上を合格とする。
- *実施要項については別に示す。